

市報
とおかまち

8/25 No.824
平成12年(2000年)



青木三四郎氏「MEMORY」



岩田 実氏「希望」



平井一嘉氏「豆天子」



岡本参千峯氏「冬のきざし」

第6回石彫シンポジウム
猛暑の中、4人の作家による作品が完成



岩田 実氏「希望」
(滝沢印刷所前)



青木三四郎氏「MEMORY」
(新潟県信用組合前)



平井一嘉氏「豆天子」
(魚辨前)



岡本参千峯氏「冬のきざし」
(ラポート十日町前)

芸術文化のかおるまちづくり事業 第6回 十日町石彫シンポジウム

～ 公開制作の4作品が、本町2に新たに設置 ～

第6回石彫シンポジウムは、8月20日(日)、公開制作によって完成した4作品が本町2丁目の商店街4か所に設置され、市民に披露されました。

「芸術文化のかおるまちづくり」を目指し、平成7年から十日町石彫シンポジウムはスタートしました。10年から第二期に入り、作家と地域住民のつながりに重点を置いて、市民生活の中に融和していくような空間づくりを進めてきました。

7月30日(日)から総合体育館の北側広場で始まった野外公開制作は連日の猛暑の中、青木三四郎氏、岩田実氏、岡本参千峯氏、平井一嘉氏の4人の作家によって完成しました。今年の4体を含めて36体が市内に設置されま



地元作家とともに、子どもたちが思い思いに作品づくり

また、8月6日(日)、「みんなで作る彫刻教室」が公開制作会場で開かれました。子どもたちから作品づくりを体験しながら芸術に親しんでもらおうと、地元の彫刻家、藤巻秀正氏と小宮山晃夫氏が講師で小学生など30人が参加しました。粘土を使った作品づくりで、楽しい一日を過ごしました。

環境

していくことに意味があるし、期待した機能が発揮されるのも継続による。これには、物的な資産だけではなくストーリー性あるいは精神性が必要である。また、リピーターを確保するには、地域間・世代間を超えた交流、若者の定住が必要。さらに、地元がどの程度関与するかが指標になる。ワークショップに、

住民が熱心に参画したことは評価できる」と報告しました。

尾田栄章世界水会議日本事務局長は、「現代アートは、どんな地域でも地域おこしに使える。どんなところを対象にしても、それに適したものが見つかる。

そこに芸術性をもたせることができる。これは、すべての地域が可能性を秘めており、それを掘り起こせる人が必要である。地元をよく知り、できればその地に生まれた人で、なおかつ世界の芸術の動きに通じていることによつてどここの地においてもできるはずだ」と報告しました。

お知らせ

藤幡正樹東京芸術大学教授によるワークショップ「体験する一寸法師」(8月10日号のお知らせ)の今後の日程は次のとおりです。

- 8月27日(日) (予定どおり)
- 9月3日(日) (教授不参加)
- 9月10日=中止

◀石彫シンポジウムがインターネットでご覧になれます。
<http://www.superchannel.org/superflex> (デンマーク)の「越後妻有スーパーチャンネル」で、石彫シンポジウムの制作風景、4人の作家へのインタビューなどが収録されています。ぜひご覧ください。

なお、再生にはリアルプレイヤー(無償ソフト)が必要です。

国際化

間宮陽介京都大学大学院教授(経済学)が、「国際化に対する芸術家の役割としては、異質なものをつないでいくことである。たとえば人と自然を結び付

地域づくり

小出治東京大学教授(都市工学)は、「妻有プロジェクトは、広域であることが特徴で、面白い試みである。6市町村のバランスを考えると自体が、地方都市の問題を解決する1つの提案になる。プロジェクトの評価は、今回だけでは難しい。継続

さらに「大地の芸術祭を下から支えている“こへび隊”は、単なるサポーターでなく、住民とプロジェクト、人と人をつなぐ重要な役割を果たしている」と評価しました。

エスバル・ダンサイレ公演

～スペインを代表する民族舞踊を披露～



8月20日(日)市民会館においてスペインのアレンチ・デ・ムン・モラルセンター舞踏団(通称:エスバル・ダンサイレ)の公演が行われました。フラメンコと並ぶ、スペインを代表するカタルーニャ地方の楽しく、美しいダンス「サルダーナ」は、500人の観衆を魅了しました。

この公演に先立ち、各地域の盆踊りなどに参加し、地域との交流が行われました。



- 9月の開催日
2日(土)・3日(日): ヒーロー市
9日(土): 妻有の市
- 会場
十日町トリエンナーレプラザ
(クロス10となり)
- 開催時間
午前9時～午後4時

おおぜいの皆様のご来場をお待ちしています。

「楽市楽座」開催中

～さがそう掘り出し物～

大地の芸術祭 7月20日～9月10日 越後妻有アートトリエンナーレ2000 9月10日まで、あと2週間!

大地の芸術祭の会期も残すところ2週間となりました。作品鑑賞に家族そろってお出かけください。

地球環境セミナー 2000

～地域づくり・継続することに意義がある～

8月4日(金)から6日(日)の3日間、地球環境について議論する「地球環境セミナー」がクロス10をメイン会場に開催されました。国内外の政・官・財・学・文化の各界で活躍する人が集まり、「地域づくり・世界とつながる」をテーマに、情報交換をしながら各自の問題意識から意見交換が行われました。

前号(8月10日号)に続き、最終日の分科会報告の内容をお知らせします。

最終日の8月6日には、前日の国際化・地域づくり・環境の3グループに分かれての分科会で話し合われたことを、それぞれのグループの代表者が発表しました。

市の財政を市民の皆さんから知っていただくため、毎年8月と2月に財政のあらましを公表しています。今回は4・5ページが市の決算状況、6ページが市の6月末の予算執行状況、7ページが広域事務組合と衛生施設組合の決算状況と6月末の予算執行状況です。

(単位：万円・%)

会 計 名		歳入決算額㊦	前年度対比	歳出決算額㊧	前年度対比	差引額㊦－㊧
一 般 会 計		203億9,905	△ 6.0	199億8,558	△ 5.1	4億1,347
特 別 会 計	国民健康保険	28億3,812	＋ 3.0	25億2,020	＋ 1.2	3億1,792
	簡 易 水 道	7億7,701	＋ 0.5	6億9,964	△ 3.2	7,737
	下 水 道 事 業	31億4,136	＋ 6.4	30億1,008	＋ 8.3	1億3,128
	老 人 保 健	47億1,919	＋ 10.2	47億1,321	＋ 8.4	598
	農業集落排水事業	4億4,662	＋ 6.8	4億1,672	＋ 3.5	2,990
	計	119億2,230	＋ 6.6	113億5,985	＋ 5.8	5億6,245
合 計		323億2,135	△ 1.7	313億4,543	△ 1.4	9億7,592

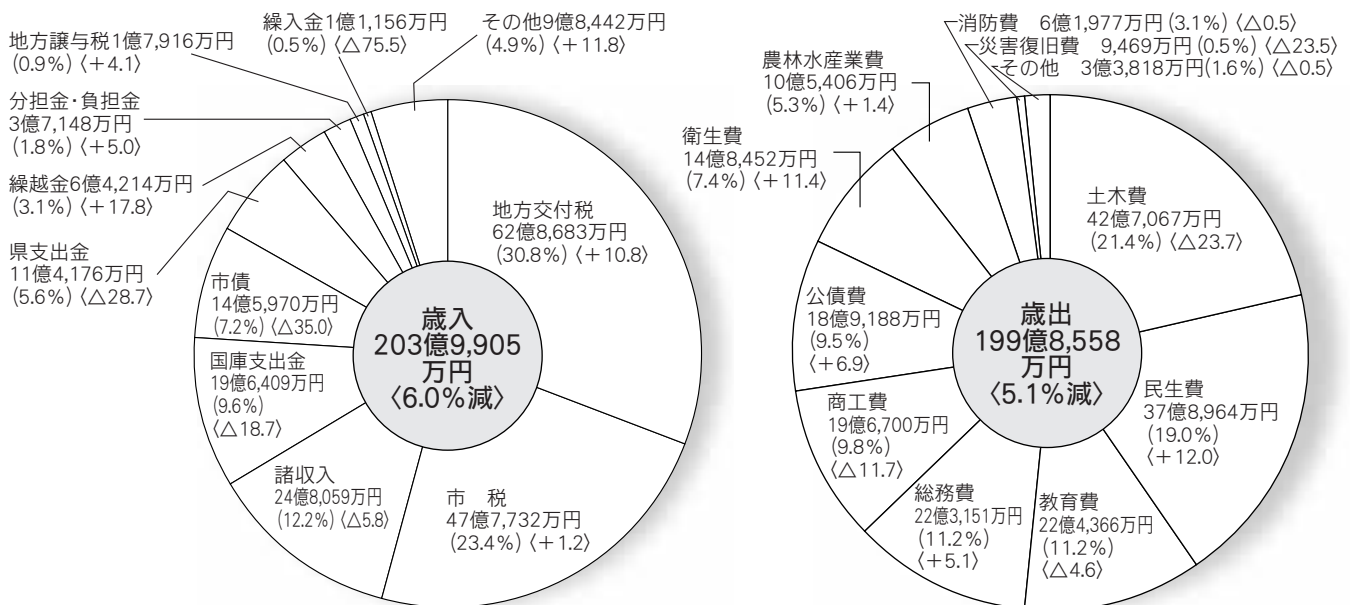
市の一般会計と各特別会計の
決算状況は右表のとおりです。

一般会計では歳入決算額203億9,905万円〈前年度対比6.0％減〉、歳出決算額199億8,558万円〈前年度対比5.1％減〉で、差引き4億1,347万円となりました。

このうち、平成12年度への繰越事業分9,082万円を差し引いた3億2,265万円（前年度対比5.5%増）が、実質的黑字額で平成12年度へ繰り越されました。

下の円グラフは、一般会計の歳入・歳出決算の構成比です。歳入では地方交付税、市税、諸収入、歳出では土木費、民生費、教育費の順番です。

歳出199億8,558万円を市民1人あたりにすると453,929円になります。土木費、民生費、総務費など、項目ごとの1人当たりの金額は5ページ左上の市民1人に使われたお金のとおりです。注：（ ）内は構成比、〈 〉内は前年度対比（単位：％）

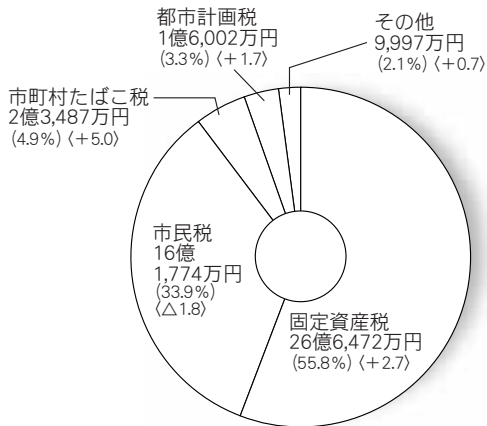


明るく住みよいまちづくりに使われました

市税の状況
(総額47億7,732万円)
〈前年度対比1.2%増〉

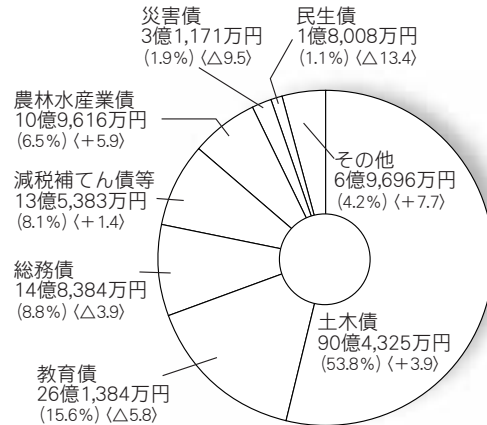
皆さんの納めた市税は、
4ページ下の歳入円グラフ
のとおり歳入の大きな部分
を占めています。

47億7,732万円のうち、
市民税と固定資産税で合
わせて42億8,246万円、89.7
％となっています。



市債残高の状況
(総額167億7,967万円)
〈前年度対比1.1%増〉

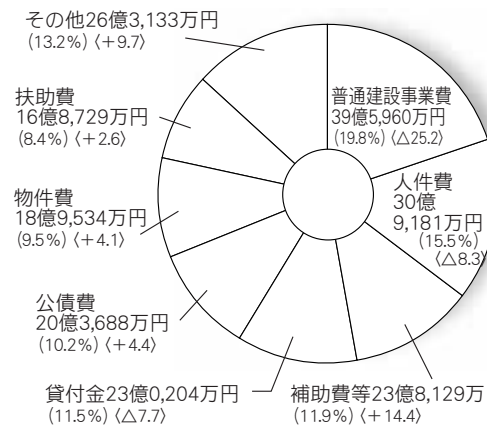
市債は、市が国や銀行などの金融機関から長期に借り入れるお金です。トップの土木債は道路や河川などの工事に、2番目の教育債は学校建設などに使われています。



性質別歳出の状況

歳出決算額199億8,558
万円の使いみちを、同じ種
類ごとに分けたものを性質
別歳出といいます。

これに対して4ページ下の歳出円グラフの土木費、民生費、総務費などに分けたものは目的別歳出といいます。



市民 1 人に使われたお金	
4ページ下の円グラフの歳出決算額 を、平成12年3月末住民基本台帳人口 44,028人で割った金額です。	
歳出総額 1人当たり453,929円	 商工費 44,676円
 土木費 96,999円	 公債費 42,970円
 民生費 86,073円	 衛生費 33,718円
 教育費 50,960円	 農林水産業費 23,941円
 総務費 50,684円	 その他 23,908円

財 政 の 状 況 (12.3.31現在)		
土 地		936万1,464.96㎡
建 物		19万5,186.65㎡
有 価 証 券	株 券	5億7,565万円
学 校 基 金	土 地	7万5,352.74㎡
	立 木	2,347.00㎡
土地開発基金	土 地	3億6,676万円
	現 金	3,824万円
その他基金 (一般会計分)	現 金	14億9,943万円

財政の状況 (12.3)

平成11年度 一般会計の主な仕事		(単位…万円)
◆総務費		
・ファミリリーゾート推進事業……………	13、085	
・十日町まちづくりシンクタンク運営事業…	1、700	
◆民生費		
・老人福祉施設入所措置事業……………	47、926	
・老人デイサービス事業……………	16、911	
・知的障害者福祉事業……………	22、497	
・私立保育所運営委託事業……………	45、182	
・へき地保育所運営委託事業……………	15、932	
・少子化対策臨時特例事業……………	3、719	
◆衛生費		
・住民健康診査・がん検診事業……………	10、631	
・日本一の健康都市づくり事業……………	360	
・乳・幼児医療費等助成事業……………	2、356	
・予防接種事業……………	27、747	
◆農林水産業費		
・農業振興・水田営農活性化対策事業ほか…	11、151	
・農地整備・農村総合整備事業ほか……………	62、787	
・林業振興事業……………	17、669	
◆商工費		
・商工業振興補助事業……………	12、563	
・経済景気対策特別資金等貸付事業……………	151、913	
・雪まつりほか観光事業……………	9、105	
◆土木費		
・道路新設改良事業……………	74、211	
・融雪施設建設事業……………	31、587	
・街路・公園整備事業……………	12、230	
・区画整理事業……………	77、628	
・市営住宅建設事業……………	17、842	
◆教育費		
・心の教室整備事業……………	833	
・小・中学校コンピュータ導入事業……………	2、416	
・ステップアップ運動・チャレンジ21教育推進事業…	2、116	
・少子化対策臨時特例事業……………	1、386	
・芸術・文化振興事業……………	1、270	
・国宝展示保管事業……………	1、063	
・情報館管理運営事業……………	33、008	
・水沢学校給食共同調理場建設事業……………	19、444	
・健康体力増進事業……………	1、254	

12年度一般・特別会計の6月末予算執行状況

(単位：万円・%)

右表は一般会計と各特別会計の平成12年度6月末の予算執行状況です。

一般会計と特別会計の国民健康保険・簡易水道・下水道事業・老人保健・農業集落排水事業・介護保険が補正されて当初予算額よりも増加または減少しています。

一般会計についてみると6月末予算額191億0,428万円〈前年度対比2.8%減〉に対して、収入済額51億8,423万円（収入率27.1%）、支出済額43億5,040万円（執行率22.8%）となっています。

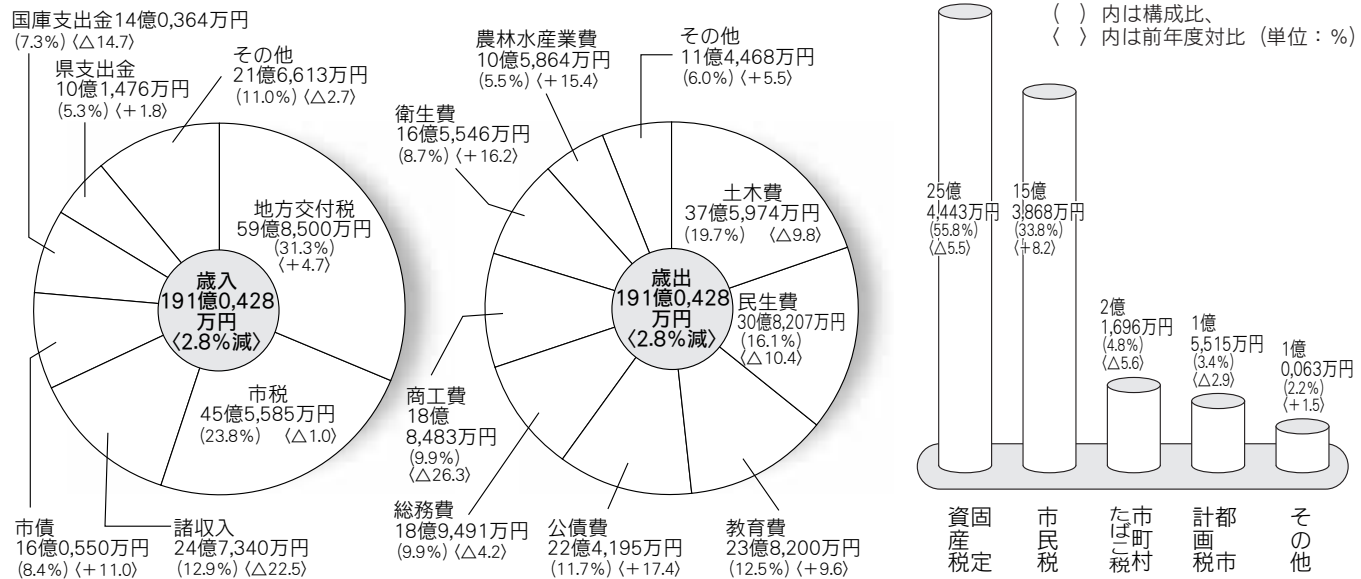
会 計 名		当初予算額	前年度 対 比	6月末予算 額	前年度 対 比	収入済額	支出済額
一 般 会 計		188億9,000	△2.4	191億0,428	△2.8	51億8,423	43億5,040
特 別 会 計	国民健康保険	26億4,470	+7.4	26億4,200	+7.5	4億9,911	3億2,833
	簡 易 水 道	9億1,630	+32.3	9億3,669	+35.0	1億6,875	3,570
	下水道事業	23億4,130	△0.3	26億9,455	+10.8	4億2,842	1億1,804
	老 人 保 健	43億8,090	△3.6	43億8,745	△4.7	7億1,714	8億3,096
	農業集落排水事業	10億8,590	+128.6	10億9,536	+126.0	3,670	4,689
	介 護 保 険	18億7,840	－	18億8,702	－	1億8,244	1億5,370
	計	132億4,750	+25.9	136億4,307	+27.8	20億3,256	15億1,362
合 計		321億3,750	+7.6	327億4,735	+8.0	72億1,679	58億6,402

一般会計の6月末
歳入・歳出予算

注：
() 内は構成比、
< > 内は前年度対比（単位：%）

市 税 の 状 況
(総額45億5,585万円)

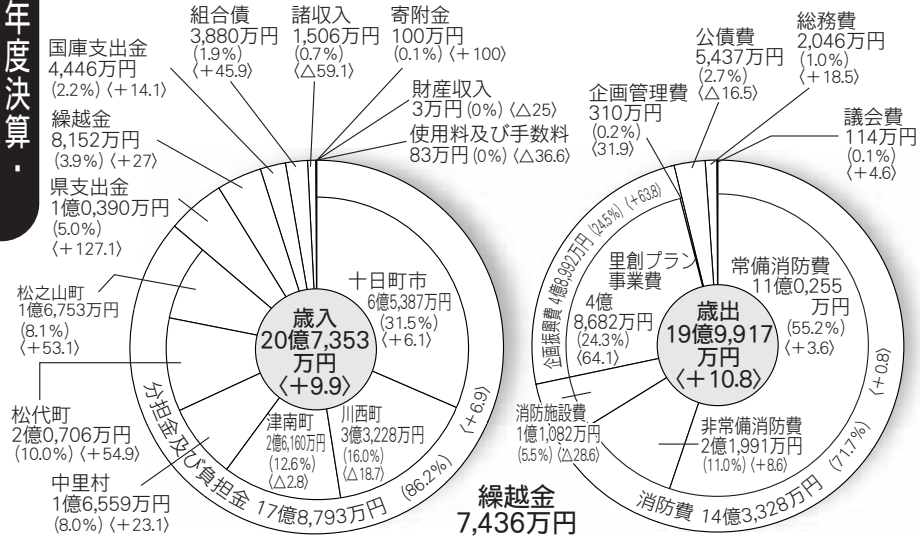
注：
() 内は構成比、
< > 内は前年度対比（単位：%）



十日町地域広域事務組合

十日町市、川西町、津南町、中里村、松代町、松之山町で運営する組合で、広域企画振興、消防・救急業務、総合福祉センター御陣荘、と畜場（11年度末で閉場）、家畜指導診療所の事業を行っています。注：（ ）内は構成比、〈 〉内は前年度対比（単位：%）

11年度一般会計の決算



11年度特別会計の決算

(単位：万円・%)

会 計 名	歳入額 (前年度対比)	歳出額 (前年度対比)	繰越金
総合福祉センター	1,522 (△20.9)	1,522 (△19.6)	0
と畜場事業	2,063 (△25.1)	1,637 (△35.1)	426
家畜指導診療所	6,312 (△2.3)	5,230 (+2.6)	1,082
土地取得事業	622 (△89.0)	595 (△89.5)	27
合 計	1億0,519 (△37.4)	8,984 (△40.7)	1,535

組合債残高の状況

(単位：万円)

消防庁舎建設事業	3,714
消防施設整備事業	1億0,034
地域総合整備事業	4億2,535
公共用地先行取得等事業	6,140
合 計	6億2,423

12年度一般・特別会計の6月末予算執行状況

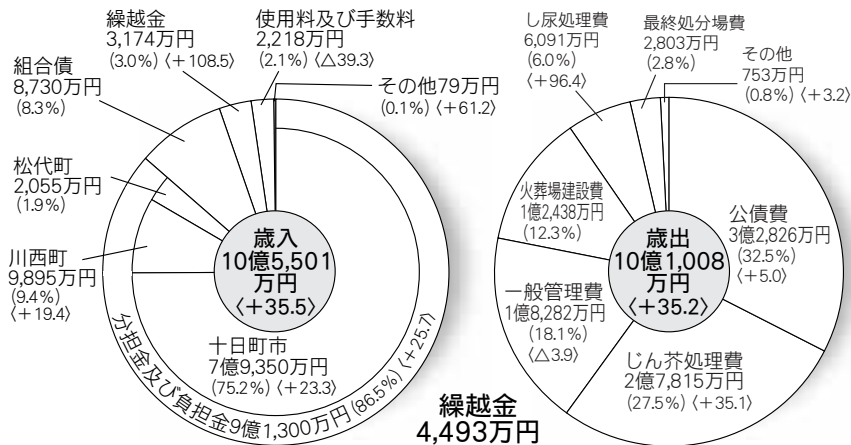
(単位：万円)

会 計 名		当初予算額	6月末予算額	収入済額	支出済額
一 般 会 計		25億9,298	26億0,378	5億2,850	4億5,110
特 別 会 計	と 畜 場 事 業	2,156	2,156	456	93
	家畜指導診療所	4,973	4,973	2,189	1,173
	土地取得事業	121	121	45	56
	計	7,250	7,250	2,690	1,322
合 計		26億6,548	26億7,628	5億5,540	4億6,432

十日町地域衛生施設組合

十日町市、川西町、松代町で運営する組合で、ごみ処理、し尿処理、新火葬場の建設などの事業を行っています。注：（ ）内は構成比、〈 〉内は前年度対比（単位：%）

11年度一般会計の決算



組合債残高の状況

(単位：万円)

ごみ処理施設	20億6,974
し尿処理施設	2億8,973
火葬場施設	8,730
合 計	24億4,677

12年度一般会計の
6月末予算執行状況

(単位：万円)

当 初 予 算 額	16億0,149
6 月 末 予 算 額	16億0,888
収 入 済 額	2億7,718
支 出 済 額	2億5,964

公共事業執行状況

普通建設事業の12年度一般会計の6月末予算額30億6,687万円〈前年度対比2.4%増〉に対して、執行済額9億0,558万円、執行率29.5%となっています。

(単位：万円)

事業名		6月末予算額	執行済額（率）
普通建設事業	補助事業	13億2,179	4億2,783 (32.4%)
	単独事業	17億4,508	4億7,775 (27.4%)
合計		30億6,687	9億0,558 (29.5%)

注) 人件費・事務費及びほかの地方公共団体が実施する事業に対する負担金は除く。

市民1人に
使われるお金

上の円グラフの歳出予算額を、平成12年6月末住民基本台帳人口44,031人で割った金額です。

歳出総額 1人当たり433,882円	総務費 43,036円
土木費 85,388円	商工費 42,807円
民生費 69,998円	衛生費 37,598円
教育費 54,098円	農林水産業費 24,043円
公債費 50,918円	その他 25,997円

中心市街地の活性化計画に着手

市街地の空洞化に歯止めをかけるために



中心市街地の状況

中心市街地は古くから商業、事業所などさまざまな機能が集まり、人々の生活や娯楽や交流の場となり、また、長い歴史の中で独自の文化や伝統を育むなど、街の「顔」とも言うべき場所です。

しかし近年、モータリゼーションの進展と住民の消費ニーズが多様化した結果、高度経済成長期とともに繁栄してきた商店街は、今は空き店舗が発生するなど、活気を失いつつあります。こうした背景には、一般的に中心市街地の魅力が乏しくなったことに加え、人口の減少傾向

市では、今年度、中心市街地活性化法に基づき、「十日町中心市街地活性化基本計画」を策定します。中心市街地の活性化のため、おおむね10年先を見据えた方針や目標、実施する事業などについて整理していくことになります。中心市街地活性化の必要性和基本計画の進め方等についてお知らせします。

活性化の必要性

中心市街地は人の集まる場所として、これまで道路やアーケード・住環境の改善等を行ってきました。民間資本・公共投資を問わずこれまでに多額の資金が投下されてきた場所です。中心市街地から人がいなくなるといことは、これらの投資の意

中心市街地活性化法

中心市街地活性化法とは、市街地の空洞化に歯止めをかけ、その活性化を図ることを目的に、平成10年7月に施行された法律です。法律に基づく制度の骨子は、①住環境の向上のために行う道路・公園等の都市基盤整備、②商店街の集客を図るために行うアーケードや駐車場等の商業基盤施設の整備、③関連ソフト事業から成り立っています。各事業を国の支援を受けながら市町村や商業関係者が主体的に実施し中心市街地の活性化を図ろうというものです。

味がそこなわれてしまうこととなります。また、今後、地方分権が進む中で、地方都市では、これまで以上にその街らしさ、つまり個性を求められる時代がやってくると予想されます。中心市街地は、まさに「その街らしさ」顔として大きな役割を果たすことが期待されますが、そのような時、中心市街地がさびれてしまうということは、大変憂慮すべきことです。空洞化に歯止めをかけなくてはならない理由がここにあります。

策定の進め方

①既存計画との整合等 策定にあたっては、「新十日町市長期発展計画」と「十日町市都市計画マスタープラン」および関連する他の計画との整合等を図りながら進めていきます。



策定委員会の様子

また、関連する計画の主なもの、「特定商業集積整備基本構想等作成調査報告書」「十日町市商業集積基本構想報告書（中心街まちづくりパイロットプラン）」があります。この2つの計画は作成から5、6年が経過しています。環境の変化もあり、実現性の高い部分を再構築し、今回の計画の中に取り入れていく考えです。

②策定の組織

策定組織は、「策定委員会」と「作業部会」が中心となります。作業部会が基本計画の素案をつくり、策定委員会はその素案を審議・承認する組織です。策定委員会は、商業関係者、一般市民、商工会議所等の関係機関、および国の機関（オプザバー）で構成します。作業部会については、商業関係者、一般市民、商工会議所、および市役所の関係課長で構成します。

また、策定に関わらない商店街関係者に策定の経過等をお知らせしていきます。商店街振興組合連合会に中心市街地商店街連絡調整会議として参画いただき、情報を伝える一方で関係者の意見もくみ上げていきます。そして、策定に関する調査・情報収集および関連資料の作成

等を「十日町まちづくりシンクタンク」に委託します。

一方、市では、中心市街地でのような事業が実施できるか、また事業の提案について実現性の有無を検討する内部の組織（庁内連絡会議）を設置します。

今後のスケジュール

策定委員会の開催は3回、作業部会は3、5回、中心市街地商店街連絡会議と庁内連絡会議は、本計画の進捗状況に合わせて開催し、年内に策定を完成する予定です。その後、本基本計画に基づいてタウンマネージメント機関（TMO）がTMO構想・TMO計画を作成し、事業が実施されることになります。

TMOとは、アーケードや駐車場など商業基盤整備やソフト事業を総合的に推進し、中心市街地における商業集積の一体的かつ計画的な整備を運営・管理する機関のことをいいます。

中心市街地の活性化について、ご意見等お待ちしております。

■問い合わせ
商工観光課商工労政係
☎57-3111 内線264

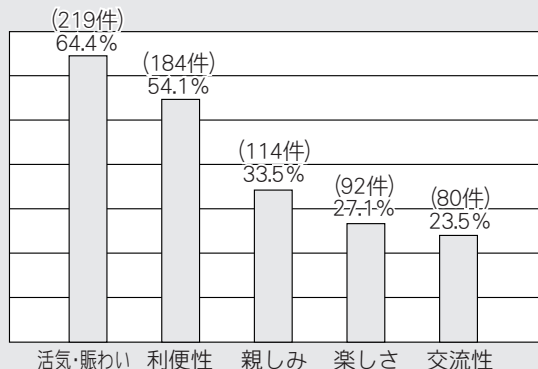
アンケート調査結果

中心市街地活性化基本計画にあたり、商店街の実態および都市の機能性について、関係者の考えを客観的に把握し、計画策定に反映することを目的に調査を実施しました。市民の皆さんにつかがった主な項目についてお知らせします。

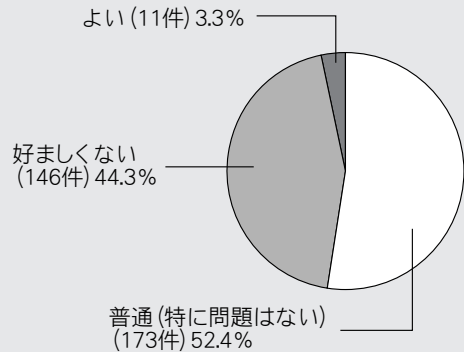
対象世帯…700世帯
回答数率…349世帯
(49・86%)

(単数回答：円グラフ
複数回答：棒グラフ)

①中心市街地が持つべき役割・機能は何ですか（有効回答…340件）



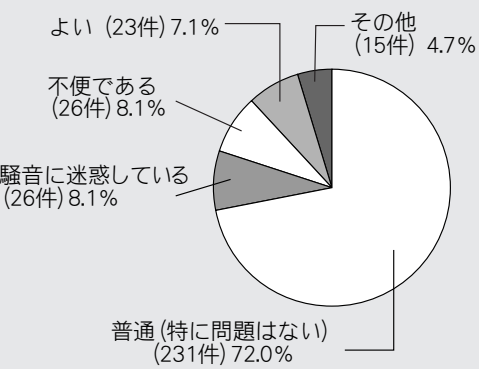
②中心市街地の交通環境をどのようにに思いますか（有効回答…330件）



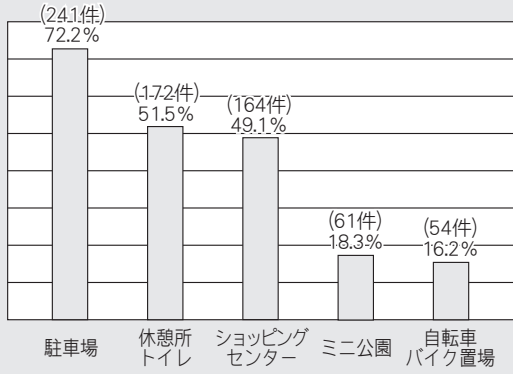
③前質問②の「好ましくない」の理由は何ですか（回答数…137件）

- 違法駐車に関するもの…71件
- 歩行者・自転車の空間確保に関するもの…20件
- 交差点などの支障を指摘するもの…17件
- 歩道の私物化に関するもの…5件
- 自転車の通行量が多すぎる…4件
- その他（踏切の長時間しめりなど）…20件

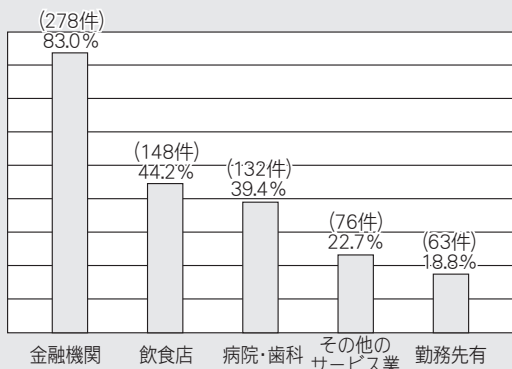
④中心市街地の住環境をどのようにに思いますか（有効回答…321件）



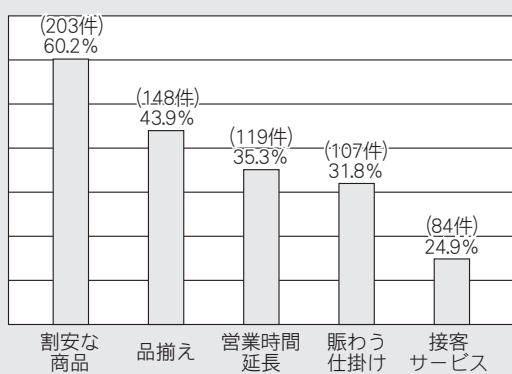
⑥中心市街地の商店街に賑わいをつくるためには、どのような施設（機能）が必要ですか（有効回答…334件）



⑤買い物以外で中心市街地を利用する目的は何ですか（有効回答…335件）



⑦中心市街地の商店街に望むものは何ですか（有効回答…337件）



平成13年度
スタート

十日町市行財政改革大綱

― 次のような考え方で行財政全般の改革を推進します ―

市では、平成13年度をスタートとする第2次の「十日町市行財政改革大綱」を本年7月に策定しました。

この大綱は、市長を本部長とする市の内部組織である「十日町市行政改革推進本部」で検討を行い、さらに市民で構成する「十日町市行政改革推進委員会」の審議を経て策定したものです。平成13年度から19年度を計画期間としています。

これからも、行財政改革の推進に当たっては、改革の進捗状況を「十日町市行政改革推進委員会」に定期的に報告し、その助言などを受けながら、市民の理解と協力を得られるよう努めます。

今回は、行財政全般の改革を推進する3つの基本指針についてお知らせします。

3つの基本指針

この大綱は、少子・高齢化や情報化、国際化など社会が大きくしかも急速に変化し、ますます多様化、複雑化する市民の要望や新たな行政課題への対応が求められている今日、平成10年度から取り組んでいる「新長期発展計画」の諸施策を最も効果的かつ効率的に達成することができる行政システムを築いてい

くための指針となるものです。厳しさを増す財政状況の中で、地方分権を生かして市民の満足度を高める行政を実現することを目指し、「市民との協働による市政の推進」、「行政の効率化の徹底」、「健全な財政運営」の3つの基本指針のもとで行財政全般の改革を推進していきます。

市民との協働による市政の推進

市民にきめ細かで満足度の高いサービスを提供するため、市政をより開かれたものとし、市民と行政とのパートナーシップをより強固なものにすることによって、市民と行政が協働してまちづくりを進める市政を推進します。

① 開かれた市政の推進

市民が、行政情報をいつでも入手でき、また市政に対する提案や意見を発信できるように広報広聴活動の充実を図るとともに、情報の公開と各種会議の公開に努めるなど、より開かれた市政を進めます。

② 協働によるまちづくりの推進

施策や事業の計画策定、実施段階において市民が参加できる

みんなの力で
まちづくりを
進めませんか!



機会を充実するとともに、地域の自治組織や各種団体、NPO等との連携・協力を一層強固なものにするなど、市民との協働によるまちづくりを進めます。

行政の効率化の徹底

激しく変動する社会にあつて、限られた財源及び人員で新たな

行政課題と市民要望に素早くしかも的確に対応し、市民の満足度を高めていくため、事務事業の見直し、組織・機構の簡素化・弾力化を図るとともに、職員の意識改革や人材育成を進め、行政運営の効率化を徹底します。

① 事務事業の見直し

市民と行政の役割分担をより明確にするとともに、限られた財源を有効に活用し、より市民

の満足度を高めるといふ観点から、事務事業の適正かつ定期的な評価を踏まえ、スクラップ・アンド・ビルド（廃止と新設）の徹底や民間事業者等への外部委託の推進、スケールメリット（規模の有利性）を生かした効率化の追求など、事務事業の見直しを行います。

② 組織・機構の見直し

少ないコストでより質の高い

サービスの提供するため、各部門の連携・協力体制を充実するとともに、新たな行政課題や市民要望に迅速かつ柔軟に対応できるよう、簡素で弾力的な組織・機構への見直しを図ります。

③ 職員の意識改革と人材育成

地方分権時代に対応し、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるため、自己啓発への支援や専門知識の修得、政策形成・法務能力の向上のための研修を充実し、目標管理制度や人事考課制度を活用して、職員の意識改革と人材育成を図ります。

④ 職員数の目標

平成19年度までに職員数400人体制（平成12年度414人）を目指します。

健全な財政運営

市税をはじめとする財源の充実・確保を図るとともに、事業の実施効果の評価結果を予算に適正に反映させるシステムの確立や行政コストの抑制、削減を図り、新たな行政課題と市民要望に的確かつ弾力的に応えられるよう、財政計画に基づき健全な財政運営を目指します。

① 健全財政の維持

財政計画に基づく計画的な財

政運営を行い、健全財政の維持に努めます。

② 財源の充実・確保

自主財源の根幹である市税を安定的に確保するため、納税意識の高揚を図りながら収納率の向上に努め、特定の人たちの受益の対価である使用料、手数料、分担金、負担金などについては、行政サービスの受益に相応しい負担となるよう今後も定期的な見直しを行うとともに、国・県補助金等の適切かつ有効な導入を図ります。

③ 評価結果を踏まえた予算編成

各種事業の費用に対する効果の適正な評価に基づき、予算を既得権化することなく実施すべき事業を適正に選択し重点的に配分する予算編成システムの確立を図ります。

④ 経費の抑制と削減

人件費等の義務的経費、物件費、補助金等の経常経費の抑制、削減を図るとともに、公共工事のコスト縮減など行政コスト全般の抑制、削減を図ります。

⑤ 財政指標の数値目標

平成19年度における経常収支比率については85%以下、地方債許可制限比率については、12%以下を目指します。

― 計画期間は、平成13年度から19年度まで ― 皆さんの提言・意見を募集します

この大綱に基づき、今年度中に具体的な取組み事項を定めた実施計画を策定して改革に取り組むこととなりますが、次により市民の皆さんの行財政改革を進めるための具体的で建設的な提案を募集します。

1、提案の内容は次のテーマから選択してください。

- ① 開かれた市政の推進
- ② 協働によるまちづくりの推進
- ③ 事務事業の見直し
- ④ 組織・機構の見直し
- ⑤ 職員の意識改革と人材育成
- ⑥ 健全財政の維持
- ⑦ 財源の充実・確保
- ⑧ 評価結果を踏まえた予算編成
- ⑨ 経費の抑制と削減

2、様式は問いませんが、住所、氏名、電話番号を必ず記入してください。Eメールによる提案の場合も同様とします。また文字数の制限はありませんが、簡潔にまとめてください。

3、提出期限 平成12年9月30日(土)

4、問合せ・提出先 〒948-8501 十日町市千歳町3丁目3番地 十日町市企画人事課人事秘書係内 行財政改革推進係 Eメール info@city.tokamachi.niigata.jp (☎57-3111 内線211)

世界恒久平和を願い



中学生感想文

原水爆禁止十日町市協議会および十日町市では、原爆死没者・犠牲者への慰霊と平和を願い、今年も広島市（小川元一団長ほか9名、8月5日（土）～7日（月）、長崎市（遠田徳団長ほか1人、8月8日（火）～10日（木））の平和式典に参加しました。今回は中学校代表として中条中学校の3年生4人が参加し、被爆者の方々から体験談を聞くなど貴重な体験をしてきました。その感想文を紹介します。

広島を訪れて

池田 智美

「人間の命の尊さ、戦争をしてはいけない。ましてや人間が人間を殺してはいけないのです。他人の幸せを願って、はじめて自分の幸せがある」

これは、6日の「証言者の集い」で私たちにお話をしてくださった山本恒さんが、「今、戦争に対してどう思いますか」という質問に対して答えてくださった言葉です。

私たち広島派遣団は、5日に平和記念資料館を訪れました。学校でビデオなどを見て自分なりに想像していた私は、入館したとたん、自分の考えの甘さに気が付きました。館内には、

広島に行って

桑原 佳織



写真左から中条中学校の池田さん、桑原さん、大嶋さん、越井さんの4人

広島に、この世のものとは思えない原子爆弾が投下されてから、今年で55年の年月が流れました。その広島に、私は十日町市の代表として行かせていただき、平和に関することについて深く考えることができました。

広島を訪れた中で最も印象に残ったのが、平和祈念式典です。式典の平和宣言で、広島市長が訴えられた「人間の存在そのものを危機に陥れた科学技術と、人類との“和解”」という言葉は、まさに今、世界中の人々が行わなければいけないことだと思いました。「和解」そのものが、平和であり、核廃絶そのものだと思います。しかし、平和

と思います。あふれるほどのものに満たされて、平和という言葉が忘れられてきつつある日本。もう一度、日本が過去の惨劇を思い出し、平和について深く考えるべきだと思います。

1つの平和を

大嶋 育未

8月5日～7日、私は2つの広島を見してきました。1つは、平和な現在の広島。もう1つは、現在も被爆者の心の中に残されている55年前の広島です。

現在の広島は、平和の象徴であるハトが飛び交う緑豊かな町です。しかし、町の一角には55年前のつめ跡がくっきりと残されていました。その中で、私にとって最も印象的だったのが、



原爆死没者慰霊碑

二千年蓮を献花。石室には死没者名簿が納められています



平和祈念式典会場

初めて見る本物の原爆ドームでした。資料などでは見られない細かい所も近くから見ることができました。建物の壁はくずれ落ち、鉄筋がむき出しになり、らせん階段は熱線や爆風により、ぱっと見ただけでは何だかわからない状態になっていました。

原爆資料館では、原爆投下が急がれた理由や当時被爆された方々の遺品・写真など、とても衝撃的なものばかりでした。何も知らずに爆風に巻かれ、たくさんの人が死んでいったと思うと、核兵器は必ずなくしていかなければならない恐ろしいものと実感しました。

広島は3日間が一番心に残ったことは、YMCA会館での証言者の集いでお話を聞いたことです。当時21歳で陸軍の軍人であった山本さんは「被爆後、たくさんさんの被爆者たちが山の方へ逃げて行く姿を見ました。被爆者たちは皆怒りも悲しみも感じられない表情でした。路上にいる被爆者たちの、水を求める声や助けを求める声、うめき声の中、たね油をぬり、がまんしてくださいとしか言えなかった」とみけんにしわを寄せながら話してくださいました。そして、「小さな数秒間に、大きなこと

“原爆が落ちた”だけで終わりにじゃない

越井 恵実

“原爆が落ちてしまった”：確かにこう言ってしまうとそれまでですが、本当にいいのでし

ようか。原爆が落ちた瞬間に死んでしまった人たちが後遺症が出てしまった人たちは、どうでもいいのでしょうか。だれもいとは思わないでしょう。

私の中で最も心に残っているのは、資料館でした。ビデオや本などでよくよく目にしていましたが、やはり自分の目で見たときがにすこいと思いました。少年のつめや皮、げたに影となっている女の子の親指、人影の石など生々しいものばかりでした。そして、8時15分で止まっている時計。だれかが「時計を見て、8時15分で止まっていると思うだけじゃないかい。その時計をしている人がいて、その親には遺骨もなく、時計だけが遺品なんだよ」と言っていました。

私はその言葉を聞いて、すぐ心を動かされました。原爆によって被害にあった人は、そうなりたくて死んだのではないのです。8時14分まではみんな生きていたかもしれないのです。昨年までに原爆によって亡くなられた人は、21万7、179人といわれています。

「舟入むつみ園」の被爆したおばあさんは、「資料館に行ったことがあるけど、あんな生や

も核廃絶もこの世界中でまだ達成されてはいません。そこに現実の問題の厳しさを感じます。

そんな中、市全体で平和と核廃絶をアピールし続けている、世界最初の被爆地広島は、たくさんの方が手をとりあいながら、今の街並みが作りあげられていました。そのことに私は感動し、平和の大切さを学ぶことができました。

YMCA会館と原爆養護ホームでは、原爆投下直後のことを2人の方から聞くことができました。実に生々しく、とても悲しくつらいお話でした。思い出したくもない思い出を、私たちに一生懸命伝え、いかに平和が大切かをわからせてくれようとしていました。そして、原爆資料館に展示されているもの以上の惨劇が、55年前の広島に起こったことや、生きているということの大切さを真剣に語ってくれました。私は、これからもう二度と原爆による惨劇が起こらぬようにと強く願いました。同時に、自分もたくさんの人に原爆による惨劇を伝えていかなければならないと思いました。これから、多くの人に「平和」と「核廃絶」を訴えていきたい

さしいものじゃなく、もつとひどかった」と話していました。資料館でもひどいと思ったのに、もつとひどかったというのは、今幸せに生きている私たちに想像できるでしょうか。

私はもう一つ、「もし、1945年8月6日、9日に広島、長崎に原爆が落ちていなかったら…」と考えてみました。原爆が落ちる前、日本は軍国主義だったといえます。もし落ちていなかったら、日本は今でも軍国主義だったかも知れません。でも、原爆が落とされ、何十万人もの尊い命をうばった出来事は、変えがたい事実です。原爆が落ちたからこそ、軍国主義への反省が強まり、人々の団結力が強くなったのかも知れません。これから深く人々の心と歴史に残っていくことでしょう。

この体験を通して、私も世界中の核兵器廃絶を応援していきたいと強く思いました。そして、出会った人たちに感謝したいと思います。



原爆の子の像

トピックス

TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画人事課広報広聴係(☎57-3111 内線213)へ、お気軽にお寄せください。



十日町総合高校写真部が優秀賞

～写真甲子園に2年連続出場～

第7回全国高等学校写真選手権大会(写真甲子園2000)が7月25日(火)～28日(金)に北海道上川郡東川町で開かれ、十日町総合高等学校写真部(田邊千勝顧問)が優秀賞に輝きました。全国8ブロックから178校が応募。代表14校は、同町の旭岳などを中心に「自然」「風土」「人間」をテーマに計28点のカラー写真を発表しました。東部・東海ブロック代表で2年連続出場の十日町総合高等学校は、南雲さやかさん、村山夏樹さん、山本由夏さんの2年生3人が健闘しました。

選手3人は、「昨年と同じものは撮れないので難しかった。3年連続出場を目指してがんばりたい」と抱負を語っていました。顧問の田邊先生は「今回はレベルが高く、よくやった。昨年のイメージがあり、違う視点づくりに難しさがあった。同じメンバーで3年連続を目指す」と3選手をたたえていました。また、8月5日(土)～8日(火)に静岡で開催された第24回全国高等学校総合文化祭では南雲さんの「神社まで競争」が奨励賞を受賞しました。(写真左から山本さん、村山さん、南雲さん)



全国の強豪校が真夏の熱戦

～十日町カップ高校サッカーカーニバル～

第11回十日町カップ高校サッカーカーニバルが8月17日(木)～20日(日)まで十日町市陸上競技場ほか市内7会場で行われ、全国の強豪校やJリーグユース、地元高校など計20チームが熱戦を繰り広げました。大会は十日町市サッカー協会とスポーツニッポン新聞社新潟支局の主催で行われ、延べ2000人の市民がスタッフとして大会を支えました。大会規模や参加校の水準、継続年数は県内でも群を抜くサッカー大会となっています。大会を支える人々の熱意と行動力は、2年後のワールドカップベースキャンプ誘致にも大いに発揮されることが期待されます。



ストップ・ザ・アレチウリ作戦

～厄介な代物の駆除作業に90人が汗～

8月8日(火)、炎天下の中、建設省北陸地方建設局信濃川工事事務所と市の呼びかけで、今年で3回目を迎えるアレチウリの駆除作業に、11団体90人が参加しました。アレチウリは、繁茂すると河川敷などで大群生をつくり、植物を枯らすなど、生体系に悪影響を及ぼす北米原産の帰化植物です。現在は、根こそぎ抜き取り、焼却する以外に駆除方法がありません。見分け方と作業場所の指示を受け、種が流れ着いている妻有大橋右岸高水敷を中心に約1時間の作業に汗を流しました。今後も注意深く植生の監視を続けて行く予定です。

環境フェア開催

～テーマは「リサイクル」～

「リサイクル」をテーマに、十日町市環境フェアが、8月6日(日)にクロス10で開催されました。今回初めての催しで、みんなで環境保全に取り組もうというものです。環境に配慮した文具やペットボトルを再生した衣服、牛乳パックを再生した紙などの展示と、十日町市の環境施策の紹介などが行われ、150人の来場がありました。また、今年川西町に新設された、(有)井上商店のペットボトル処理工場の見学会も併せて行われました。見学した30人の皆さんは、自分たちの出したペットボトルが、衣服などの原料として再生されていく様子に感心していました。



夏のふるさと物語開催

～十日町の自然をおもいきりEnjoy～

県内外の皆さんにリゾート体験をしてみようという毎年行われている、マイ・ライフ・リゾート新潟整備推進協議会主催の「夏のふるさと物語」が、県内7つのコースにおいて、8月18日(金)・19日(土)の1泊2日で行われました。十日町コースには40人が参加し、1日目はそば打ち体験やネーチャールゲームを楽しみ、当間高原リゾートベルナティオに宿泊しました。2日目は草木染めの体験を行った後、大地の芸術祭やクロス10、博物館を興味深く見学しました。参加者は十日町の魅力に触れ、夏休みの思い出づくりを楽しみました。

西関東大会へ十中と南中が初のアベック出場

～新潟県吹奏楽コンクールで県代表～



3回目の出場となる十日町中学校の吹奏学部

第41回新潟県吹奏楽コンクールが、8月7日(月)、新潟市民芸術文化会館で地区予選(131団体)を勝ち抜いた中学校38団体によって行われました。中学校B(編成35人以下)に出場した十日町中学校(35人・田中まり子顧問)と南中学校(35人・山田好一顧問)が金賞に輝き、9月9日(土)に山梨県で行われる西関東大会に出場します。県代表は金賞を受賞した14団体のうち上位9団体で、十日町中学校は平成7年・8年に次ぐ3回目、南中学校は初出場です。市内初のアベック出場の快挙に関係者も沸いています。十中の田中先生は「大会前の練習では、南中とお互いに聞き合う機会もあり、刺激になった。県代表として県大会以上のはずかしくない演奏をしたい」と話しています。生徒は「西関東大会で金を目指す」と意気込みをみせています。

南中の山田先生は「平成4年以来の県大会出場で金賞と初の西関東大会の切符を手にした。県代表として自信を持って、南中の音を響かせてきたい。演奏曲は、Bでは演奏しない曲でびつくりすると思う」と話しています。3年生部員は「最後の年に県代表になり最高の喜び。県代表として悔いのない演奏をしたい」と初出場を喜んでいました。



初出場の南中学校の吹奏学部

Buon Giorno! COMO-TOKAMACHI 53

日伊貿易



ワルターさん (Italian News Digestより掲載)

それらを克服し、日伊貿易を拡大させるため、日伊の架け橋として第一線で活躍されているワルターさんです。

彼女は日本について、「どうでもいい条件や基準にこだわらずに余計な時間を要し、日本固有の完璧主義がかえってマイナスになる場合がある」と言います。また、「国際化を強調する時代ですが、日本人はとにかく個性を捨てて画一的になる部分が大いにあり、これは30年前とあまり変わっていない」と辛口の指摘もありました。今後の貿易や交流の上で大変参考になる意見でした。

(姉妹都市協力員 当重 茜さん)

故郷



西郷 祥三郎さん

埼玉県川越市藤間916-45 (昭和町3出身・68歳)



生まれ故郷の十日町を離れて50年。いまわしい太平洋戦争が終結したのは旧制中学2年生の時です。思春期を戦中、戦後の狂乱、混乱、荒廃の時代に過ごし、あまり楽しい思い出はありません。小学校6年生の時に剣道選手として、中魚沼郡の代表で中越大会に出場しました。野本和雄君、佐野金蔵君など5人チームで1、2回戦は勝ちましたが、3回戦で強豪長岡チームに2対3で負けました。私が中学を出たばかりの桑原助教で徹底的に絞られました。中学でも剣道部に進みましたが巨漢の広川4段に親のあだのように打ちのめされ転がされました。戦後、柔道はいち早く復活しましたが、剣道は15年ほどしてやっと解禁しました。連合国にとって日本人と日本刀は実におぞましい思い出だったのでしよう。30代後半には警察の道場に通り、ストレス発散をかねて練習しました。汗の染みこんだ防具のにおいが懐かしく感じられます。悪童として手こずらせたであろう恩師もほとんど鬼籍に入られました。8月15日には、謹んで“黙とう”。

ところで、2年続けて塩之又で交流キャンプをしてきた十日町市子供会連合会の親子73人が、8月19日(土)～20日(日)の2日間、葛飾区を訪ねし葛飾区宝木塚こども会の親子55人と共に1日2泊で都内の施設見学などをして交流を深めました。19日には葛飾区助役、区議会議員、宝木塚小学校長などの方々からもご出席いただき大々的に「開村式」を行いました。

東京事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座4の10の12
銀座サマリヤビル5階
☎03-35467230 (FAX 兼)

十日町市子供会連合会の親子
8月19日～20日に葛飾区を訪ね

先日、葛飾区の鈴木さんから「9月9日(土)に立正佼成会葛飾協会2、000人が教祖の一乗祭にバス50台で十日町を訪れる」とご連絡をいただきました。鈴木さんや協会に「ぜひ、大地の芸術祭を見学してほしい」と要望しましたが、「当地は宿泊施設がなく、日帰りであるので難しい」との返事で、残念な思いをしました。

大地の芸術祭には、7月29日(土)～30日(日)の2日間、大好き十日町会東京支部主催のツアーで首都圏から17人、十日町から11人が参加しました。気温38度の猛暑でしたが、脱落者もなく無事終えることができました。

9月の交通安全キャンペーン

交差点事故を防止しましょう。

平成11年中、十日町署管内における交通事故の発生件数は383件、その内、交差点事故は130件と全事故の33.9%を占めています。

交差点事故の多くは、一時停止や安全確認などの基本的な交通ルールを守らないために発生しています。交差点では確実に一時停止し、はっきりと左右の安全を確認しましょう。



7月の交通事故発生状況 () 内は1月からの累計

年	発生件数	負傷者数	死者数	物件事故数
12年	18(139)	21(160)	0 (3)	38(353)
11年	22(137)	30(178)	0 (1)	41(371)



田村潤子さんと福島淳史くんが出場

9月9日(土)～12日(火)に開催される、第55回国民体育大会・夏季大会に、市内から田村潤子さん(ゴルフ)と福島淳史くん(水泳)が出場します。晴れ舞台でのお二人の活躍が期待されます。

田村潤子さん(昭和町3)は団体戦となるゴルフ競技(成年女子)に出場します。雪国というハルネを乗り越え、冬季には、下越や群馬県への遠征を重ねて実力を高めてきた田村選手にとって、今年の国体は、3年連続の出場となるものです。「全国ベスト10を目標にがんばります」と抱負を語っています。

福島淳史くん(十高1年)は水泳競技の少年男子(B)200mバタフライに出場します。先に長野市で開催された北信越高校総体の決勝で、自己ベストを上まわる好記録で入賞を果たしました。続く新潟県国体予選会で



福島淳史くん



田村潤子さん

みごと優勝し、国体出場を決めたものです。「この夏一番の泳ぎで、全国の選手と堂々と戦いたい」と語っています。



マイレールほくほく線

ゴーゴー
ほくほく線

(101)

9月のイベント情報

〈伍社宮大祭・奉納角力〉▼9月1日(金)▼塩沢町大字関▼石打駅から徒歩3分▼江戸時代から続く「宿場角力」から発展し、地方力士と大学相撲部による奉納角力は圧巻です。翌日2日(土)には子ども相撲大会も開催されます▼塩沢町地域振興課(☎0257-82-0254)

〈大池まつり〉▼9月23日(土)▼大池いこいの森第三キャンプ場▼大池いこいの森駅から徒歩5分▼青空市場、とん汁・地酒のふるまい、鯉・にじますのつかみどりなどが行われます▼頸城村産業課(☎0255-30-2311)

〈第11回水族博物館写真会開催中〉▼10月31日(火)まで▼上越市立水族博物館▼直江津駅から徒歩10分▼水族博物館の展示物を自由に描いてもらいます。優秀作品は表彰されます▼参加費一般(高校生以上)630円、小・中学生280円、幼児(3歳以上)140円。別途入館料が必要ですが、参加者・付添者には割引があります▼上越市立水族博物館(☎0255-43-2449)



時代を担う知識と技術を身につけようとする社会人のために、「教育訓練給付金制度」(受講費の8割を国が負担)や、「再就職促進訓練」(受講料無料・基本手当・受講手当、通所手当支給)も実施しています。■資料請求・問合せ〓信濃川テクノ・アカデミー(〒947-0026小千谷市上ノ山4-4-2 ☎0120-405070)へ。

ご利用ください介護雇用創出助成金制度

新潟県では、新たに介護サービス事業を行うことなどにもない、労働者を雇い入れる場合の賃金や雇用管理改善などの経費に対して助成する「介護雇用創出助成金制度」を今年4月から実施しています。■助成金の種類〓①雇い入れた労働者の賃金の一部(2分の1または3分の1)を助成②教育訓練に要した費用および教育期間中の賃金の4分の3を助成③募集・採用方法、人的管理、就業管理、健康管理について雇用管理改善事業を実施した場合、経費の2分の1を助成④労働環境改善のための設備設置や福利厚生充実のための福祉施設の整備費用の一部を助成■窓口・問合せ〓(財)介

国民年金基金に加入しましょう

「国民年金基金」は、老齢基礎年金に上乗せする形で年金を支給し、老後の生活をより豊かにするための公的な年金制度です。国民年金基金は、国民年金保険料を免除されている人や農業者年金の加入対象者を除き、国民年金の第1号被保険者(自営業・農林漁業などの人)はだれでも加入できます。ただし、国民年金の付加保険料は納められなくなるのでご注意ください。掛金は、全額社会保険料控除の対象になります。また、受ける年金は公的年金控除の対象となります。ゆとりある老後のため、国民年

本町2丁目商店街(国道西側)のアーケード改築工事が始まります

朝夕、周辺の渋滞が予想されます。ご理解・ご協力をお願いします。

■期間＝9月1日(金)～11月30日(木)(予定)

飯山線踏切の交通止めとバス振替輸送

飯山線の工事に伴い、次の踏切が交通止めになります。工事期間中は飯山線を運休するためバスによる振替輸送を行います。

■踏切通行止め日程＝①9月5日(火)：市道太田島本線・第2太田島踏切(太田島3)②9月12日(火)～13日(水)：県道十日町当間塩沢線・市野沢踏切(馬場1)③9月13日(水)～14日(木)：市道内後城之古線・北新田踏切(妻有町西2)

※時間は①午前8時30分～午後5時②③午後10時～午前6時

■バスによる振替輸送日程＝●日時＝9月2日(土)～8日(金)午前9時20分～午後4時●区間＝十日町駅～森宮野原駅間(各駅付近に停車)

■問合せ＝JR東日本十日町駅(☎52-2327)へ。

護労働安定センター新潟支部(☎025-247-1963)へ。

介護支援専門員実務研修受講試験

■受験資格〓保健福祉医療に関する国家資格等を持ち、その業務で5年以上の従事経験を有する人■試験日時〓11月12日(日)午前10時～正午■試験会場〓受験者に直接通知■願書配布〓県庁で直接受け取るか、郵送(270円切手を貼付した角2サイズ)の返信用封筒を同封)により依頼■受験申込み〓9月1日(金)～20日(水)(当日消印有効)の間に、申込先に郵送または持参■問合せ・申込先〓新潟県庁高齢福祉保健課介護保険室(〒950-8570 ☎025-285-5511)へ。

年金



国民年金の現況届はすみやかに

国民年金の現況届は、受給者が引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するための届です。1年以上継続して年金

金基金にぜひ加入してください。■問合せ〓新潟県国民年金基金(☎025-245-9345)または市民生活課国民年金係へ。

環境



生ごみ処理容器購入補助事業

市ではごみの減量を図るため登録店から「家庭用生ごみ処理容器」を購入した場合、次の金額を補助しています。電動式も対象となりますので、ご活用ください。■補助金額〓①1万円までのものは50%補助(補助限度額3千円)②1万円を超える

を受給している人に、年1回、誕生日の初旬に送付されます。届いた現状届ははがきになります。届ます。必要事項を記入し、切手をはって投函してください。提出が遅れたり、忘れたりすると、年金の支払いが一時停止されますので、必ず誕生日に提出してください。■問合せ〓市民生活課国民年金係(内線151)へ。

ご利用ください国民年金の前納制度

国民年金には、保険料を事前に納めることのできる前納制度があります。前納制度を使うと、納める手間が省け、納め忘れの心配もなく、保険料の割り引きもあつて大変便利です。現在、10月～来年3月までの6か月分の前納を受け付けています。電話申込みもできますので、希望する人は9月29日(金)までにお申し込みください。■問合せ・申込み〓市民生活課国民年金係へ。

	定額保険料の場合	付加保険料の場合(定額保険料含む)
毎月納付(6か月分)	79,800円	82,200円
6か月前納	78,920円	81,290円
割引額	880円	910円

ものは30%補助(補助限度額1万5千円)■対象期間〓9月30日(土)まで■問合せ〓市民生活課生活環境係(内線157)へ。



リサイクルのため古い電話帳を回収します

NTTでは9月中旬から新しい電話帳「中越タウンページ・魚沼ハローページ」をご家庭や企業にお届けします。その際、

第33回

十日町市美術展作品募集

【会期】10月21日(土)～24日(火)【会場】市民体育館

■出品作品〓①各部門とも1人2点以内。未発表作品に限る。作品を額装する場合はガラス不可■出品料〓一般・1点千円、2点千500円、高校生以下・1点500円■作品搬入出〓搬入…10月17日(火)午前9時～午後8時30分に会場に持参。搬出…10月24日(火)午後4時30分～6時30分■審査会〓10月18日(水)午後3時～5時30分■問合せ〓社会教育課(公民館本館内 ☎57-5011)へ。

部 門	作 品 規 格
日 本 画	額ぶち付きのこと(100号程度まで)
洋 画	油絵・水彩・パステル、額ぶち付きのこと(8号～100号まで)
版 画	額装(ドライマウントは不可)。モノタイプ版は除く。(幅116cm以内)
現代美術	常識以上の大きさを超えないこと
彫 刻	常識以上の大きさを超えないこと
工 芸	染・織・焼物・つる・漆・革・木・竹・わら・紙工芸など。(幅・縦とも200cm以内)
書 道	額装または枠張り表装のこと。(縦額は幅76cm以内、縦182cm以内。横額は幅152cm以内、縦76cm以内)※釈文票添付
写 真	単写真は全紙以上、全倍まで。木製パネル張り(額ぶち不可)。組写真および全倍パネルの大きさが長辺103cmまで。

保健福祉



骨粗しょう症検診受診者募集

今までの電話帳は、紙資源として再利用するために回収させていただきますので、ご協力をお願いします。

寝たきりになる主な原因は脳卒中と骨折です。骨量は40歳をピークに減少します。特に女性は要注意。検診を受けてみませんか。■期日〓10月1日(日)(受診時間は後日通知します)■会場〓クロス10■対象者〓昭和6年4月2日～36年4月1日生まれの女性■定員〓3百人・申込受付順■受診料〓千円■申込み〓9月8日(金)までに健康福祉課健康増進係(内線143)へ。

骨髄バンクに登録を

白血病など血液の難病は骨髄移植によって治療することができます。移植を成功させるには、多くの組み合わせの中から患者さんと骨髄提供者の白血球の型を一致させる必要があるため、より多くの皆さんからの「骨髄バンク」への登録が望まれています。

心の健康相談

■日時〓9月26日(火)午後2時～3時■会場〓十日町保健所■医師〓田村医師(五日町病院)■申込み〓健康福祉課健康増進係(内線144)または十日町保健所(☎57-2400)へ。

市民てんかん講座

「治りにくいてんかんを克服する」をテーマに開催します。講演終了後希望者に個別相談を予定■日時〓9月10日(日)午後1時～■会場〓高陽荘(上越市西城町3-6-22)■講師〓①金澤治医師(国立療養所西新潟中央病院小児神経科医長)②亀山茂樹医師(国立療養所西新潟中央病院臨床研究部長)■演題〓①「治りやすいてんかん」と治りにくいてんかん」②「難治性てんかんの外科

消火器の不適正な訪問点検に注意

各地で消火器の不適正な点検や、高額請求のトラブルが発生しています。「消防署の方（方角）から来た」「事前に電話をかけて信用させる」など、出入りの業者を巧妙に装い、強引に回収・点検を行い、高額請求をしています。被害に遭わないために

●身分証の提示を求める ●点検をはっきり断る ●契約書にサインや押印をしない ●居直りや脅迫的な言動に出たときはすぐに警察や消防署予防課（☎57-1557）に通報してください。



す。

■1期初回に該当する子
【3〜8週間間隔で3回接種】
①9月1日現在1歳〜接種日現在7歳半未満の子 ②未接種か3回接種をしていない子 ※百日ぜきにかかった子は二種混合（2回接種）になります。必ず受付に申し出てください。 ③平成11年3月2日から9月1日に生まれた子には個別通知をします。

三種混合
（百日ぜき・ジフテリア・破傷風）
二種混合
（ジフテリア・破傷風）

予防接種



■1期追加に該当する子
日現在7歳半未満で、1期初回完了後1年を経過した子。
■注意事項
「予防接種と子どもの健康」を必ず読んでください。
■持参するもの
▼母子健康手帳（忘れると接種は受けられません）
▼体温計
▼当市に住民登録をしていない場合は、登録先の市町村が発行する「予防接種実施依頼書」を持参してください。
■会場
保健センター
■受付時間
午後1時30分〜2時15分（時間厳守）
■問合せ
健康福祉課保健予防係（内線141）へ。

対象地区	1 期 初 回			1 期追加
	1 回目	2 回目	3 回目	
川治、六箇、水沢	9月7日 (木)	9月28日 (木)	10月19日 (木)	10月27日 (金)
十日町	9月8日 (金)	9月29日 (金)	10月20日 (金)	11月1日 (水)
中条、下条、吉田	9月12日 (火)	10月3日 (火)	10月24日 (火)	11月2日 (木)

9月の乳幼児健康診査と休日救急医

健康福祉課 ☎57-3111

乳幼児健康診査

事業名	期日	受付時間	対象児
3歳児健診 （3歳6か月児が対象です）	20日 (水)	午後1時〜1時45分	9年3月生まれの幼児
1歳6か月児健診	13日 (水)	午後1時〜1時45分	11年3月生まれの幼児
4か月児健診	27日 (水)	午後1時〜1時30分	12年5月生まれの幼児
2歳6か月児身体測定	19日 (火)	午前9時〜9時50分	10年2・3月生まれの幼児
10か月児身体測定	27日 (水)	午前9時15分〜10時	11年11月生まれの幼児

- ①1歳6か月児、3歳児健診は歯科検診あり。
②4か月児健診を受けない場合は、保健予防係まで書類を取りに来てください。
③3歳児健診前に検査セットを送りますので、届かない人は保健予防係（内線141）まで連絡してください。

休日救急医

期日	医療機関名	住所	電話番号
3日(日)	池田医院	本町西1	52-2581
10日(日)	川西町診療所	川西町	68-2034
	中条病院	北原	57-3018
15日(祝)	山口医院	袋町中	52-2174
17日(日)	第二藤巻医院	川西町	68-2018
	上村病院	中里村	63-2111
23日(祝)	大熊内科医院	山本町1	52-7066
24日(日)	山口医院	下条中央通り	55-2003
	津南病院	津南町	65-3161



その他



治療 ■入場料 ■無料 ■申込み
不要、直接会場においでください
■問合せ
国立療養所西新潟中央病院てんかんセンター（☎025-265-3171）へ。

司法書士と社会福祉士によるシルバ1110番

高齢者・知的障害者・精神障害者・身体障害者の相続や遺言などの問題や、介護・福祉の問題について、電話と面談（予約制）による無料相談をお受けします。秘密は厳守されます。 ■日時
9月15日(金)午前10時〜午後4時 ■電話番号
025-28-1666（当日限り） ■面談予約
事前に新潟県司法書士会事務局（☎025-228-1589）へご予約ください。

無料調停相談会

さまざまなトラブルについて話し合いで解決するための相談会を実施します。事前申込不要、希望者は直接会場にお越しください。 ■日時
9月6日(水)午前10時〜午後3時 ■会場
公民館 本館 ■相談内容
①交通事故に

住宅金融公庫からのお知らせ

【住宅ローンの返済が困難な人に対する返済条件変更】返済を10年間延長するなど負担軽減できる場合があります。返済でお困りの人はご相談ください。 ■問合せ
返済中の金融機関または住宅金融公庫北関東支店（☎027-232-6656）へ。

【資金計画診断サービス】面談、郵送、ファックス、インターネットにより、あなたの住宅ローンの資金計画の健全性を総合的に診断します。ご相談ください。 ■利用請求先
住宅金融公庫北関東支店サービス相談課（〒371-8588前橋市千代田町1-8-8 ☎027-232-6656ファックス027-232-6817ホームページアドレスhttp://www.jyukou.go.jp/）

9月の献血



全血献血

■期日
①14日(木)（※1）
山工務所※2（株）シルクワーク
②19日(火)（終日）吉沢織物（株）
■受付時間
※1 午前10時〜11時30分、※2 午後0時30分〜午後3時、終日 午前10時〜正午、午後1時〜3時 ■問合せ
健康福祉課保健予防係（内線141）へ。

9月の相談日

◎健康相談 保健婦による相談

期日	会場	時間
4・11・18 25日(月)	保健センター	午前9時〜11時30分
19日(火)	新座コミュニティセンター	午前9時〜11時30分
	大井田コミュニティセンター	午後1時30分〜4時
12日(火)	川治地区公民館	午前9時〜11時30分
	北和会館	午後1時30分〜4時
21日(木)	就業改善センター	午前9時〜11時30分
	吉田山谷集会所	午後1時30分〜4時
	飛渡地区公民館	午前9時30分〜11時30分
22日(金)	中条地区公民館	午前9時〜11時30分
	北原集落センター	午後1時30分〜4時

※健康手帳のある人はご持参ください。

◎高齢者職業相談

毎週月〜金曜日
午前9時〜午後4時
会場：高齢者職業相談室

◎定例行政相談

8日(金)
午前10時〜午後3時
会場：市民相談室

◎法律相談

電話で市民生活課へ要予約
14日(木) 中沢利秋 弁護士
28日(木) 佐藤伍一郎 弁護士
午後1時30分〜午後4時
会場：市民相談室

むし歯のないよい歯の子

7月の3歳児健診を受けた子16人

よい歯の子	住所	保護者
柳沢知美	(上町)	明広
佐藤海	(梅沢)	祐吉
春日翔	(樽沢)	めぐみ
蕪木達哉	(関根2)	哲夫
春日惇	(樽沢)	義昭
桑原有香	(塩ノ又)	弘行
富井洸太	(馬場1)	高志
荒井冴子	(西浦町東)	良重
高橋宏昌	(水口)	美佳
上村梨乃	(太田島1)	純洋
藤ノ木流星	(錦町2)	寛
石澤菜緒	(春日町3)	佳代
越村奏人	(稲荷町4)	勇一
古澤萌	(北鎧坂3)	幸男
小杉真奈	(四日町2)	幸二
斎木廉	(落之水)	明

青春リレー

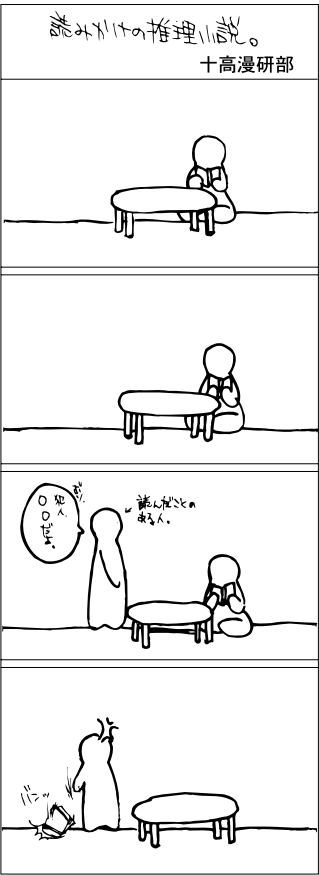
(65)

渡辺 美保子さん 1979年生
しまむら十日町店勤務



高校卒業後、しばらく新潟市にいましたが、家の都合で十日町市に帰ってきました。職場には、オープン当時からお世話になっていきます。仕事では商品のディスプレイや接客をしています。人と会話をすることが好きなので、毎日楽しく仕事に励んでいます。プライベートでは、休日に友人と好きな買い物に出かけます。新潟市に足を伸ばしたり、時には新幹線で渋谷や新宿などにも行ったりします。夏は、友人と海に行くのも楽しみです。

しみの一つですね。このほか、自分を磨くために簿記の勉強もしています。休日に時間を見つけて、コッコツがんばっています。取りたい資格は、栄養士やパソコンなどいくつかあります。今はホームヘルパー3級の資格を持っています。高校時代に家庭内で介護に直面したことが資格を取るきっかけとなりました。ホームヘルパーも上級を目指します。そして夢は、25歳までに幸せな結婚をしたいと願っています。



スクールNOW

No.53

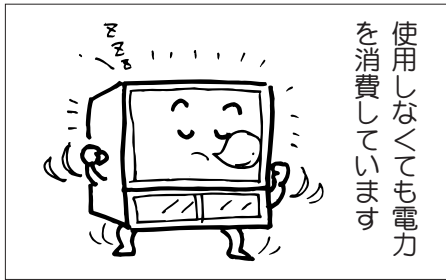
じょうもん市で全校合唱

中条中学校



学区内の笹山遺跡から出土した火焔型土器など928点が国宝指定を受けてから、一年が経過しました。それを祝い6月4日(日)に地域あげての「笹山じょうもん市」が開催されました。本校ではウオークラリーや文化部の出店、吹奏楽部の演奏に加え、全校合唱で学校をあげて催しに参加しました。全校合唱では「この星に生まれて」(三部合唱)と校歌を歌いました。それぞれのイベントで、中学生らしいキビキビとした行動とさわやかなあいさつを行い、地域の皆さんからほめていただくことができました。

伝統として脈々と受け継がれている「あせまみれ運動」(あいさつのあ、整理整頓のせ、まとまりのま、身なりのみ、礼儀のれ)が確実に身に付いていることを皆さんに実感してもらうことができました。今後も地域の行事に積極的に参加したいと考えています。



使用しなくても電力を消費しています

市の花 「山つつじ」



市の木 「きり」

